
異世界は意外と身近でした。

つりめねこ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

異世界は以外と身近でした。

【Nコード】

N6479Z

【作者名】

つりめねこ

【あらすじ】

いつもの通りの日々を暮らす女子大学生の鈴城 瑠依^{すずしろ るい}。彼女は、いわゆる普通の女子大学生。「魔法やら戦争やら、それはその次元の話だよ。」

ある日、彼女は日課の古本巡りをしていた。そこにあった魔法の本、
”封穴のグリモア”。
”空白を埋める者、その名を告げよ・・・”その本に名前を書いた時から、彼女の物語は始まった。

「そう始まって、終わった。・・・はずだったんだけどなあ？」

*基本的にノリ、で書いている時があります。初心者丸出しな小説ですが、頑張って書いていきたいと思います。

プロローグ（前書き）

はじめまして、つりめねこです。小説は初めてですが、宜しく願います。

よくある異世界トリップで、所々原作沿い、スルー、オリジナル要素等あります。

つまり、ネタバレもあります。

主観で書いている点もあるので、そこはご了承ください。
では！

プロローグ

魔法の本、”封穴のグリモア”。

本に書かれた、ある一文……。 ”空白を埋める者、その名を告げよ・

・”

その本に名前を書いた者は、物語をつづらなければならない。

日々の生活、事件、事故、会った人、話した人……。

そのすべての出来事が本に”生きた証”としてつづられる。

その本が、全部埋まったその時、 ”封穴のグリモア” は力を発揮する。

その力は、ある強大な災厄を塞ぐ為の力だった。

その力で、彼はその世界を救った。

役目を終えた”グリモア” は、彼の手元から姿を消した。

まるで、次の所有者を見つけるように……。

「 ”封穴のグリモア” ……。ファンタジー小説かな？」

プロローグ（後書き）

「封穴のグリモア」

FFTA2の主人公が異世界に来たきっかけになったものです。
元の世界に戻る為に、彼は文字をつづっていきました。

この小説の主人公もそのノリで行く予定です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6479z/>

異世界は以外と身近でした。

2011年12月21日21時49分発行